

ぱちんこ情熱リーグ

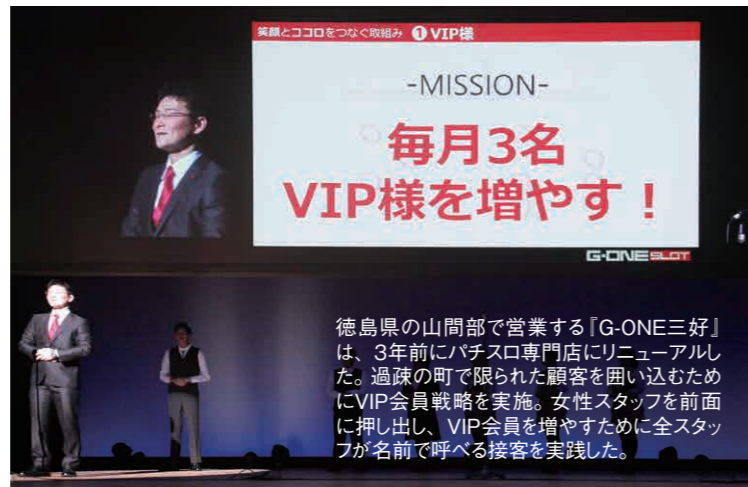
ぱちんこ情熱リーグはサービスカナンパーワンの店舗を決める大会。6回目を迎えた今回の大会には、全国から222店舗のホールが参加した。予選は、遊技客として入店した調査員がサービスチェックを行うミステリーショッパ一調査で採点。各エリアで上位得点を獲得した『P-ROOTs CASINO』（共栄グループ）、『アリーナふじみ野店』（三慶商事）、『G-ONE三好』（グランド商事・アドバンス）、『夢屋祖父江店』（夢コーポレーション）、『パラーマイニチ聖蹟桜ヶ丘』（ヴァリアント）、『ノースオメガ』（グランド興業）の6店舗が決勝大会のステージに駒を進めた。決勝では2000人の来場者を前に、20分間のプレゼンテーションで自店の取り組みなどを紹介した。



優勝後の記念撮影。写真中央が平山社長



『G-ONE三好』
●所在地/徳島県三好郡東よし町加茂1772-2
●総台数/パチスロ175台 ●スタッフ数/13人(男性3人、女性10人)



徳島県の山間部で営業する『G-ONE三好』は、3年前にパチスロ専門店にリニューアルした。過疎の町で限られた顧客を囲い込むためにVIP会員戦略を実施。女性スタッフを前面に押し出し、VIP会員を増やすために全スタッフが名前で呼べる接客を実践した。

『G-ONE三好』の取り組み事例



店舗スタッフの約8割が女性ということもあり、手作り感満載の装飾が同店の持ち味だ。装飾を担当する桑名陽子さんは「店長に相談して駄目と言われたことがない。好きにさせてくれるので楽しい」と、自分の能力を最大限に発揮している。「今月の店内BGMポップ」はアルバイトスタッフの竹橋英里さんのアイデア。お客に「今月はどの歌手の歌を流しましょうか?」と、会話のきっかけを作るために設置している。



手作り感満載のアットホームな装飾が持ち味だ



月8回以上来店するお客をVIP会員として名前で呼ぶほか、好きな台やタバコの銘柄、来店時間帯などをスタッフ全員が把握している

にした。男性社会の業界だが、女性も管理職に挑戦してほしい。私は店長を目指す」と力強く話した。
大会終了後の記者会見でグランド商事・アドバンスの平山剛社長は「仕事への思いが伝わったことが嬉しい。上手く伝えてくれたスタッフたちに感謝した」と話し、スタッフたちを労った。

ぱちんこ情熱リーグの吉原純浩理事は「ぱちんこ情熱リーグは新しい文化を創造し、業界の未来に大きな影響を与えていくプロジェクトだ。今後現場で働くスタッフたちが輝ける場を提供し、学びと気付きを共有することで店舗の力を最大限に活かせるようにしたい」と大会を総括した。

第6回ぱちんこ情熱リーグ

『G-ONE三好』

グランド商事・アドバンス連覇



グランドアドバンス五ヶ条

- 一、常に若々しく前進する
- 一、自分の可能性を信じる
- 一、謙虚で真面目である
- 一、ポジティブで積極的である
- 一、既成の概念にとらわれない

『G-ONE三好』のプレゼンテーション

名前では呼べる接客を

第6回ぱちんこ情熱リーグ決勝大会が2月9日、都内のメルパルク東京で開催され、グランド商事・アドバンスが経営する『G-ONE三好』（徳島県）が優勝した。同社の店舗は、昨年も『パラーグランド二軒屋』が優勝。大会二連覇となった。

決

勝大会では予選を勝ち抜いた6店舗のスタッフたちが、集客のための取り組みや仕事への思いなどをプレゼンテーションで伝えた。予選での得点と、プレゼンテーションに対する来場者の投票結果や審査員の得点を加算して優勝店舗を決めた。

優勝した『G-ONE三好』は徳島県三好郡で営業している175台のパチスロ専門店。プレゼンテーションでは、月8回以上来店するVIP会員を毎月3人増やすことを目標に、全スタッフがVIP会員の顔と名前を覚え、名前で呼ぶ接客を実践していることを発表した。VIP会員の名簿には顔写真と名前のほか、好きな機種、タバコの銘柄、来店時間帯などを基本データに、カレンダー形式で来店日を記入。さらに、その日の勝ち負けまでを記録した。このVIP会員の一覧を事務所に大きく貼り出し、全スタッフでお客の情報を共有している。VIP会員を増やす戦略は功を奏し、以前と比べて売上は大きく向上した。

プレゼンテーションではさらに、女性が働きやすい環境づくりを推進していることを発表。昨年4月から管理職を務める蔵本和美副主任が仕事への想いを語った。「結婚、出産を経験し、子どものことを思って、一般社員のまま務めるつもりだった。管理職は断っていたが、店長から限られた時間で成果を出せばいいと言われ、挑戦すること